

令和6年度

都市農地活用実践ゼミナール 開催案内

～「農のエリアマネジメント」の可能性について考える～

■ 日時：令和7年2月13日（木）18:00～20:30

■ 会場：オンライン（zoomウェビナーを使用）定員50名

近年、都市部における農や農的活動への関心の高まりとともに、農地や農的空間を地域住民等が利用・農体験する機会が増えています。これらは農との関わりだけでなく、コミュニティ形成等、周辺地域と多面的なつながりも有し、豊かな地域づくりやエリアマネジメントに発展する可能性が考えられます。

そこで、今回は都市農地センターが2024年に発行した事例集「ポスト2022年の都市農地」で採り上げた「農のエリアマネジメント」に関連する2地区（横浜、日野）について、執筆いただいた専門家より講義いただき、受講者のみなさまと一緒に考える場をもちます。

趣旨説明

「農のエリアマネジメント」について

<説明> 一般財団法人 都市農地活用支援センター

講義1

「横浜ふるさと村・恵みの里など（神奈川県横浜市）」

～農あるまちづくりにおける市民主体の地域運営～

<講師> 内海 宏氏
(株式会社 地域計画研究所 代表取締役)

講義2

「日野市農のある暮らしづくり協議会」

～農地をまちづくりの資源として積極的に保全・活用する～

<講師> 丸木 英明氏
(一般社団法人 TUKURU 代表理事)

■ 受講料：2,000円（学生1,000円）

■ 申込方法：当センターホームページ、メールマガジン等の案内よりお申込み下さい。
受講料はpeatixを通じ原則事前支払いとなります。難しい方はご相談ください。

■ 主催・連絡先：一般財団法人 都市農地活用支援センター 普及部
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル 4階
HP URL <https://www.tosinouti.or.jp> e-mail: seminar@tosinouti.or.jp
tel: 03-5823-4830 fax: 03-5823-4831

都市農地センター
ホームページ



■プログラム・講師プロフィール

18:00

開会

18:00

~18:10

趣旨説明

生産緑地制度は、個々の農地を指定し規制をかける（他方で税制優遇をする）仕組みであるが、長期に亘って農地が存続し営農が続けられるためには、地域的広がり（エリア）の中での農地群（集団）を対象としてその保全・活用を図ることが不可欠と認識されるようになってきている。こうした農地の散在する地域は多数の都市住民が住んでいる市街地でもあり、そこで都市住民が農家と連携して、「農」の持つ魅力・ポテンシャルを活かしたまちづくり活動を継続的にすすめる取組みを「農のエリアマネジメント」と捉え、これをテーマとした研修会を行います。

18:10

~19:00

講義 1

「横浜ふるさと村・恵みの里など（神奈川県横浜市）」

～農あるまちづくりにおける市民主体の地域運営～

【内海宏氏】株式会社 地域計画研究所 代表取締役

横浜市まちづくりコーディネーター、都市農地活用・保全アドバイザー、横浜市市民農園コーディネーター、横浜国立大学非常勤講師等として活動中。

「さまざまな立場の住民が地域で豊かに暮らせる仕組みづくり」にこだわり、コミュニティづくりや地域福祉の推進、郊外の住宅地再生、農あるまちづくりなど、地域まちづくり活動支援に奮闘中。特に、エリアマネジメント、耕作放棄地・空き地の農園利活用、空き家・空き店舗でコミュニティカフェの設置・運営、高齢者の多彩な見守りのお手伝いをする機会も増えている。



19:10

~20:00

講義 2

「日野市農のある暮らしづくり協議会」

～農地をまちづくりの資源として積極的に保全・活用する～

【丸木英明氏】一般社団法人TUKURU 代表理事、

株式会社アール・ピー・アイ業務執行役員

楽しく心豊かに暮らすために、日野市民として農のある暮らしづくりを展開。全国の地域づくりを支援する仕事の経験を活かし、「農のある暮らしづくり協議会」の運営と「農のある暮らしづくり計画」の策定に携わる。この計画を推進する組織として、一般社団法人TUKURUを設立。

仲間の輪の広がりが、農のある暮らしづくりの推進力になることを実感している。



20:05

~20:30

意見交換

「横浜、日野の事例からみた農のエリアマネジメントについて考える」

各講師より紹介いただいた事例紹介を基に、農のエリアマネジメントについて、受講者からの質問・意見も交え、深掘りします。

【進行】都市農地活用支援センター 【パネリスト】 内海宏氏、丸木英明氏（前出）

20:30

閉会

■ 参考テキスト

事例集

ポスト2022年の都市農地

閲覧無料・送付申込受付中



2024年2月29日発刊。
生産緑地の2022年問題の終結を見越して開催した「これからの新しい都市農業及び都市農地保全のあり方を検討する研究会」での議論を経て、取りまとめた事例集。
無料で閲覧いただけます。



■ 参考動画

ONLINE SYMPOSIUM

ポスト2022年の都市農地

2024年3月28日開催
アーカイブ配信



2024年3月28日に開催した、オンラインシンポジウム「ポスト2022年の都市農地」のアーカイブ配信。
無料でご覧いただけます。

